

審査員からのコメント

課題研究として2019年から取り組んできた地元企業との協働について、これまでの活動を総括すると同時に、次なる展望を考えることができた。この「まさきモデル」を次世代に継承し、多世代の地域からの認知を広げることが松前町のまちづくりにつながると思われる。伊予高校生の皆さんが、高校を卒業してからはどのような形で「まさきモデル」に関われるのか、今後もぜひ課題研究として継続して、高校のOBOGとの関わりも深めて貰えると良い。

